

聖陵 Sei-Ryou

2014.3 Vol.17
盛岡大学聖陵同窓会報

発行者／盛岡大学聖陵同窓会
事務局／〒020-0694
岩手県滝沢市砂込808 盛岡大学内
電話 .019-688-5555
ホームページアドレス
<http://www.morioka-u.ac.jp/seiryou/index.html>

東日本大震災により被害を受けられた皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

CONTENTS

■ 同窓会長あいさつ	1	3
■ ホームカミングデー	2	4
■ 卒業をあらためて祝う会	2	4
■ 同窓会活動報告	3	4
■ 卒業生は今	3	4
■ 部活動報告	4	4
■ 退職教員訃報	4	4
■ インフォメーション	4	4
■ 事務局便り	4	4
■ 編集後記	4	4



第5回夢灯り ≈Snow Wonder Land≈

震災により、卒業式をすることができなかつた平成22年度357名の卒業をあらためて祝う会が、10月12日に挙行されました。卒業生代表の千葉麻美さんの喜びと感謝の言葉に、開催に尽力された、太田理事長、徳田学長も安堵の事と思ひます。その後に行われたホームカミングデーでは、歓迎レセプションとして中庭で、在学生による「盛大さんざ踊り」の披露があり、パレード最優秀賞6連覇中の150名の踊りは、エネルギーッシュで豪華圧巻でした。その後私は、厨川キャンパスツアーに参加、懐かしの教会、ロビー、階段教室を案内頂きました。何しろ、私の大学入学式会場が3Fの階段教室でしたので、懐かしい思い出でした。

更に懐かしいお話で、八幡平研修が行われた八幡平校舎が現在更地になり、平成26年春以降に大学側で緑地化の計画予定があります。同窓会としてボランティアで、緑地化のお手伝いをする計画を作成し同窓会HPで御案内致しますので、チェックを忘れずに願います。

さて、同窓生のネットワークについてご紹介致します。13年3月に川崎支部懇親会が太田理事長、土屋前文学部長、西元教授をお迎えして、総勢37名にて大盛況で開催されました。支部会事務局長の小笠原さんはじめ参加者達が「盛岡大学に入つてよかつた」「今の自分を成長させてくれた大学に感謝している」「先生方がとても親身になつてくれていた事が、社会人になつてよくわかつた」「岩手に帰つて大学に貢献したい」と語つてくれています。このように、卒業生相互の親睦、恩師との懇談、後輩支援を目的に、川崎支部が模範支部として、活躍される事を、遠く岩手の地より応援致します。

今年は、栄養科学部第1期生の同窓会メンバーをお迎えして、30期1万人を超えて、平成26年度でのホームカミングデーのパワーアップしての継続実施と、川崎支部に続く支部交流を創設バックアップして参ります。

皆様の御参加、御協力をお願い致します。

ホームカミングデー開催に感謝



盛岡大学聖陵同窓会
会長

菅原 元

・同窓会長
あいさつ

ホームカミングデー

平成25年10月12日に第1回盛岡大学・盛岡大学短期大学部ホームカミングデーが開催されました。聖陵祭と同時の開催も相まって、参加予定者を上回る参加者となり、各学科の展示や教員による講演会などが行なわれました。

近年、大学が卒業生を母校で歓待すると、いうホームカミングデーが国立大学を中心に行催されるようになり、本学では、はじめての開催となりました。

卒業アルバムの展示、懐かしい厨川キャンパスやサークルでのスナップ写真集、さんさ委員会のさんさ踊りの披露もあり、卒業生の目には、自分たちの頃とは、表現の変化などを感じるものでした。

懐かしい顔ぶれもあり、ほほえましいシーンが多くありました。少しずつホームカミングデーが浸透していくといいなあと感じた一日でした。



ホームカミングデー



平成22年度卒業生の「卒業をあらためて祝う会」



秋晴れに恵まれた平成25年10月12日土曜日。午前11時より平成22年度の卒業生の「卒業をあらためて祝う会」が行われました。当日は聖陵祭・聖華祭の初日でもあり、合わせて第一回盛岡大学・盛岡大学短期大学部ホームカミングデーも行われました。

大学棟A405教室で始まった「卒業をあらためて祝う会」には、卒業を間近に控えた平成23年3月11日に起きた東日本大震災により卒業式を実施できなかつた卒業生達が59名参加してくれました。また、当日参加は出来なかつた平成22年度卒業生42名からも「元気です!」や「小学校で働いています」といったメッセージが寄せられ、参加者に配布されました。

「卒業をあらためて祝う会」は齋藤学生部長の司会で始まり、徳田学長、太田理事長、菅原同窓会長とご挨拶をいたしました。後、平成22年度卒業生を代表して日本文学科の千葉麻美さんが挨拶を行いました。

祝う会終了後は学生食堂に場所を移して昼食会が行われ、当時の担任の先生方のスピーチや在学時代の生活風景のスライドショーを介して友人と近況を語り合うなど、改めて母校を通じての絆を深めていただきました。

卒業をあらためて祝う会

同窓会活動報告



平成3年3月に英米文学科を卒業した荒川と申します。実家のある福島に就職した後も、「第2の故郷」である盛岡のことや、友人たちのことが常に気にかかり、追憶の日々でした。

自分ではどうすることもできないと諦めかけていましたが、東日本大震災を機に、再会したいという欲求が一層強まり、思い悩んだ末、自ら同期会の発足に踏み切った次第です。

昨年3月に初めての会合を仙台で開催したところ、遠くは北海道や愛知県などから男女23名の参加があり、時間(年齢?)を忘れて楽しいひとときを過ごしました。また、9月に都内で開催した2回目は、男性8名の参加でしたが、カラオケで当時の曲を熱唱するなど、気楽に飲み明かしました。次回、いよいよ盛岡での開催に向けて検討を始めています。

当初、卒業アルバムや後援会名簿などを手がかりに案内状を送ったものの、転居先不明で大量に戻って来たり、オレオレ詐欺と勘違いされて電話を取り次いでもらえなかつたりと、落胆することも多々ありましたが、皆さんのが協力によって芋づる式に情報を収集し、現在では、約100名の同期生のうち、半数の方々とコンタクトがとれる状況に至っています。いまだにお誘いできない方もいらっしゃいますので、お心当たりの方はご一報ください。

連絡先：〒969-3133 福島県耶麻郡猪苗代町大字千代田字中島1-2 幹事：荒川昭典 メール：moridai2012@yahoo.co.jp 携帯電話：090-9743-2855 (ショートメール可)

卒業生は今

いま、思うこと

児童教育学科 平成12年度卒業
井上 佳子



皆様、お元気ですか？現在、岩手県岩手町にあります「岩手中央幼稚園」にて主任教諭の責務に尽力しております。我が園は、乳幼児の保育施設と学童クラブを併設しており、0歳から小学校6年生までの子ども達の成長を見守り、恵まれた自然の中で貴重な育ちに関わることができます。

在学中の幼稚園実習で、先生と子ども達が抱きしめ合う場面をよく目にしました。自分が教諭となり分かったことは、そこに至るまでの丁寧な関わりと強い信頼関係の築き。ただ両手を広げて待つのではなく、自分の方から子ども達の心と体をぎゅっと抱きしめにいかなければならないこと。盛岡大学の楽しかった思い出を胸に、学んだことを生かし、私は今日も（色んな意味で）たくましくなった腕で、溢れる自然に囲まれながら子ども達を力いっぱい抱きしめています。1人でも多くのよりよい未来を構成していく人財を育て、いつかこの腕から巣立っていくけるように。

海を渡って

日本文学科 平成3年度卒業
フェリア早苗（旧姓関口）



結婚を機に、アメリカにやってきて間もなく13年。まさか自分がアメリカで生活することになるとは、夢にも思っていなかった学生時代。日本文学科に在籍しながら、教師になりたいという漠然とした思いのまま、大学生活も後半に入った頃、友人に誘われ参加した海外英語短期研修での経験や人々との出会いが、語学教師になることや国際交流ということを強く意識させ、私の人生を大きく方向づけたように思います。

現在は私の住むイリノイ州にあるブルーミントン・ノーマル日本語補習校で、中学生たちと国語を学んだり、コミュニティーカレッジで大学生たちと日本語を学んだりしています。また、息子たちの学校や課外活動を通して、こちらの好奇心旺盛な子供たちと触れ合う機会も多く与えられています。まだまだ、言葉の壁や文化の違いに戸惑うことがありますですが、これからも盛大での経験を原動力に日本とアメリカとの間に橋が架けられるよう、様々なことに挑戦していこうと思っています。

部活動報告 硬式野球部

神宮出場を目指して

社会文化学科 3年 生平 鷹秀

私たち硬式野球部は、よりよい結果を残すため日々練習に励んでいます。硬式野球部には東北各地から集まっている、時には厳しく接しながらも切磋琢磨しており、部員同士の仲がよく、とても雰囲気のいいチームです。また野球を通じ、社会に出て恥ずかしくない人格の形成を目標に取り組んでいます。

昨年の北東北大野球一部の春季リーグ戦において、残念ながら二部リーグに降格してしまいました。一部復帰を目指す秋冬季リーグ戦では、二位に終わってしまい、目標を達成することができませんでした。さらにその他の大会等においても十分な結果を残すことができずとても悔しいシーズンでした。この悔しさを晴らすために今冬に厳しいトレーニングを重ね一部復帰できるよう、さらに大きな目標である神宮出場を目指しより一層頑張っていきます。

皆様の期待に応えられるように努力していきますので、今後とも盛岡大学硬式野球部を応援よろしくお願いいたします。



information

*盛大教職広場「掲示板」

盛岡大学教師教育センターでは、昨年12月盛岡大学HP内の盛岡大学教師教育センターのサイトに盛大教職広場掲示板を開設しました。教員を志望する在学生及び卒業生、教員をされている卒業生及び盛岡大学教職員が教職について語り合える交流の場です。参加を希望される方は盛岡大学HPにアクセスしてみてください。

<http://www.morioka-u.ac.jp/>

*八幡平校舎解体撤去

盛岡大学開学当時から新入生研修施設として利用されてきた八幡平校舎が、老朽化に伴い昨年10月に解体撤去されました。その跡地は植栽される予定です。

卒業生訃報

平成15年3月日本文学科卒業生浦田雅光さんが、平成26年1月9日逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

退職教員訃報

日本の地方文化の価値を世界に広めたお二人のご功績を讃えるとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

高橋富雄先生

平成25年10月5日 92歳で逝去されました。

- 平成2年から平成10年まで8年間、盛岡大学の学長を務められました。
- 蝦夷から平泉に至る東北の古代史に注目し、地方から日本史を問い合わせ研究をされました。
- 東北古代史研究で第34回河北文化賞を受賞。
- 東北大名誉教授、福島県立博物館館長。

大矢邦宣先生

平成26年1月5日 69歳で逝去されました。

- 平成17年から平成24年まで7年間、盛岡大学社会文化学科教授を務められました。
- 文化財研究を基礎にした平泉文化研究をされました。
- 「平泉文化遺産」の世界遺産登録にご尽力され、平泉文化遺産センター所長、岩手県文化財保護審議会長、第65回岩手日報文化賞学芸部門受賞。

平成24年度 聖陵同窓会決算報告 (平成24年4月1日~平成25年3月31日)

収入の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額
入会金	1,500,000	1,635,000
終身会費	3,050,000	3,270,000
雑収入	50,000	11,959
特定預金取崩収入	0	0
計	4,600,000	4,916,959
繰越金	260,424	260,424
合計	4,860,424	5,177,383

支出の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額
事業費	1,750,000	2,091,501
事務費	100,000	525
通信費	700,000	4,960
会議費	100,000	12,000
慶弔費	100,000	31,000
旅費交通費	50,000	93,080
財政基金繰入支出	2,000,000	2,000,000
計	4,800,000	4,233,066
繰越金	60,424	944,317
合計	4,860,424	5,177,383



編集委員

吉田典子(昭和60年度卒)／川村匡世(昭和62年度卒)／三戸淳一(昭和62年度卒)／佐藤大裕(平成12年度卒)／高橋有起子(平成14年度卒)／上條尚樹(平成15年度卒)／吉田智子(平成15年度卒)／川田彩乃(平成20年度卒)／佐々木啓(平成23年度卒)

この同窓会報は、皆様から届いたおハガキやメールのご感想及びご意見を糧に作成しています。今号も皆様からの心のこもったメッセージを拝見し、卒業生の様子、後輩の活動状況、大学の取り組み等を記事に取り上げさせていただきました。第17号のご感想を編集委員一同楽しみにお待ちしております。

昨年の2月といえば記録的な寒波が日本列島を襲い悲惨な事が相次ぎました。今年はとうと今度はこれまた記録的な大雪に見舞われ、仙台や関東に在住する会員からも通勤や雪かきなどで大変苦労させられたとのお話を多数伺いました。誌面やホームページでもご紹介のとおり25年度のトピックスはやはり聖陵祭にあわせて実施されたホームカミングデーではないでしょうか。大学当局との行事やスケジュールのすり合わせ、運営方法、予算の問題など課題はたくさん残りましたが、まずは記念すべき第1回を無事終えることができたと思いまださつたかたがたは決して多くはありませんでしたが、友達同志、またはカップルで肩を寄せ

冬季オリンピックではベテラン葛西選手の活躍とともに若い世代の活躍が日本中を賑わせてくれました。また、この3月には栄養科学部の第1期生の皆さんも聖陵同窓会の一員となりました。同窓会事務局も活動の中心に若い力を投入して世代交代し、未来に続く体制作りをしていきたいと思っています。